

## 子どもの学びを支える「かかわり」を

全日本私立幼稚園連合会 会長 香 川 敬



新年にあたり、全ての子どもたちの成長と各園のご発展を心からお祈り申し上げます。

昨秋、澄み切った青空の下に行われた運動会で、子どもたちが鮮やかに躍動する様子を目にすることができました。隣にいる仲間の息遣いを感じ取り、温もりをしっかりと掴みながら自分の動きを調整している子どもたち。懸命に走り抜いた子どもを中腰のまま両腕で抱きとめ、語り掛ける先生。戸惑う子どもの姿を素早くキャッチし、側に駆け寄る見事な気働き。まさに、運動会は日々の教育・保育の丁寧な積み重ねの集大成なのです。先生方が柔らかな眼差しでそれぞれの子どもの個性的な動きや表情を見取りながら指導に当たられていることが、保護者や地域の人たちに正しく届いたと確信した次第です。

幼児教育無償化が2019年10月から実施されます。巨額の財政措置に伴い、認可施設としての公的責任が問われ、無償化実施後の幼児教育の質の向上への期待と要請が高まることは必至で、「学校評価」とその「見える化」は避けて通れないと考えます。それだけに、よりよい幼児教育の実現を図るためには、各々の園独自の、その園ならではの教育課程の編成と実施が課題となってくるのです。

そこで、教育課程を具現化していく時、子どもの「学び」を支え、見守る私たちが心に留めておきたいことがあります。

子どもの発達と教育に関する研究において、子どもが「背伸び」する場を設定していくというかわりが子どもの発達を大きく促し、学びの可能性を拡大させると言われています。仲間同士のかかわりは勿論のこと、周囲にいる大人の援助・応答による支えや、複数の視点を手にすることにより、子どもは更に大きく育つことができるのです。

細部までこだわり、緻密に考え抜かれた計画を立て、先生が自分の信じた方向に子どもを正しく導くことが、所謂「原則」ではあります。しかし、その一方で、子どものその都度その都度の思いがけない発言や、行動の発展の意外さに心から驚き、そのおもしろさを歎きながら、受け入れ支えていくことが、子どもの学びの可能性を伸ばす時に大きな働きをします。そのような「かかわり」をしていこうとする情熱こそが、確実に子どもの学びの可能性を伸ばすのです。

子どもの学びを支えるためには、一つの主題に沿った保育が終わった時、「予定通りに進んだぞ」という形の振り返りだけで満足しないことです。予め想定していなかった、計画通りではなかったけれど、つい変更したらできるようになったことなどを互いに出し合い、その時にどのような「かかわり」方をしたかをつぶさに思い出し検討していく。表情の見取り、つぶやきの聴き取り、掛けた言葉などを通して、どのように子どもを支えたか、それを丁寧に掘り出してみます。そこでのかかわりはきっと「受容的・呼応的」なものであった筈であり、そうした場面で子どもはまさしく「本気で」ぶつかり、自分の中に新たな意味を創り上げていくに違いありません。

子どもたちが大人になって迎えるであろう世界は、多くの課題や混沌とした状況を孕んでいるかもしれません。その中であって、創造力の豊かさと力強さを発揮し生きていけるよう子どもの学びを見守りたいと考えます。先生方の子どもへの「かかわり」そのものを、子どもが成長していく環境の要素の一つとして捉え、子どもとの「かかわり」の中によるこびを見い出す姿勢を持ちたいものです。

## 次代を担う子どものために～幼児教育の振興に向けて～ 幼児教育の無償化実現を願い盛大に開催



▲安倍晋三内閣総理大臣による祝辞



▲多くの保護者の方にご参加いただき、盛大に開催されました

12月10日、午後1時から東京・ホテルニューオータニにおいて、全日本私立幼稚園PTA連合会（河村建夫会長）の第33回PTA全国大会が開催されました。「次代を担う子どものために～幼児教育の振興に向けて～」を大会テーマに、全国各地から保護者代表、幼稚園関係者など約1,200人が参加しました。

本会では安倍晋三内閣総理大臣、柴山昌彦文部科学大臣、中曽根弘文自由民主党幼児教育議員連盟会長、馳浩自由民主党幼児教育議員連盟事務局長、橋本聖子自由民主党幼児教育議員連盟副会長がご臨席され、PTA連合会からは河村建夫衆議院議員（全日私幼P連会長）、遠藤利明衆議院議員（全日私幼P連副会長）、山本順三参議院議員（全日私幼P連副会長）が出席され、衆議院、参議院合わせて約100名の国会議員ご臨席のもと、盛大に開催されました。

第1部の大会式典は、遠藤利明全日私幼P連副会長の開会あいさつの後、河村建夫全日私幼P連会長があいさつをされ、最後に香川敬全日私幼連会長があいさつをされました。

来賓祝辞では、安倍晋三内閣総理大臣からご祝辞をいただきました。また、柴山昌彦文部科学大臣、中曽根弘文自由民主党幼児教育議員連盟会長、馳浩自由民主党幼児教育議員連盟事務局長、橋本聖子自由民主党幼児教育議員連盟副会長からご祝辞をいただきました。

来賓紹介では、出席された来賓の国会議員一人ひとりのご紹介が行われました。

最後に、月本喜久全日私幼P連副会長から今大会の大会宣言案が読み上げられ、満場一致で採択されました。



▲こどもがまんなか PROJECT アワードの表彰がおこなわれました



河村建夫氏  
全日私幼 P 連会長、  
衆議院議員



柴山昌彦氏  
文部科学大臣、  
衆議院議員



中曽根弘文氏  
自由民主党幼児教育議員連盟  
会長、参議院議員



馳浩氏  
自由民主党幼児教育議員連盟  
事務局長、衆議院議員



遠藤利明氏  
全日私幼 P 連副会長、  
衆議院議員



山本順三氏  
全日私幼 P 連副会長、  
参議院議員



橋本聖子氏  
自由民主党幼児教育議員連盟  
副会長、参議院議員



香川敬氏  
全日私幼連会長

山本順三全日私幼 P 連副会長の閉会のことばで第 1 部の式典が終了しました。

第 1 部の式典終了後、河村建夫全日私幼 P 連会長より 16 年にわたり全日本私立幼稚園 P T A 連合会副会長を勤められた、金重光江様に感謝状が授与されました。

その後、こどもがまんなか P R O J E C T アワードの表彰式が行われました。受賞団体の代表として東京都・認定こども園多摩川幼稚園が表彰され、取

り組みについてご報告していただきました。

続いて、特別賞としてこどもがまんなか P R O J E C T オフィシャルスポンサーである、ブラザー工業株式会社様よりご報告がありました。

第 2 部の記念講演は、東京大学・慶應義塾大学教授の鈴木寛様より「AI 時代の教育～幼児教育の重要性～」をテーマにお話いただき、盛会のうちに会を終了しました。



▲金重光江全日私幼 P 連前副会長を表彰いたしました



▲鈴木寛氏 東京大学・慶應義塾大学教授



## 幼児教育の無償化後への対応について協議

12月14日、東京・私学会館において、全日私幼連常任理事会が開催され、27名が出席しました。

尾上正史副会長による開会の言葉、香川敬会長によるあいさつの後、議長に四ツ釜雅彦副会長、議事録署名人に徳本達之常任理事と土居孝信常任理事が選任され、議事に入りました。

### ■協議案件（1）：幼児教育の無償化後への対応について

坪井久也総務委員長より資料をもとに説明が行われ、岩田知也全日私幼連専務理事より補足説明がありました。

### ■協議案件（2）チャレンジ・ビジョンについて

加藤篤彦教育研究委員長と、東重満（公財）全日私幼研究機構理事長より、幼児教育の更なる質向上を図るためのチャレンジ・ビジョンの説明がありました。

### ■報告案件（1）：平成30年度上半期決算・監査報告について

坪井久也総務委員長より決算の報告があり、石川雄巨監事より監査報告が行われました。

### ■報告案件（2）：平成31年度全日私幼連会費について

坪井久也総務委員長より説明および報告がありました。

### ■報告案件（3）：幼稚園教諭等（民間）に関するキャリアアップ研修について

加藤篤彦教育研究委員長と、東重満（公財）全日私幼研究機構理事長より説明および報告が行われました。

### ■報告案件（4）：会務運営報告について

各委員会の委員長、プロジェクト座長から、会務の進捗状況について報告がありました。



【総務委員会】①経営ダブルアシストについて②災害見舞金の支給にかかる報告書のお願いについて【政策委員会】①子ども・子育て会議について②処遇改善等加算Ⅱの研修要件について【教育研究委員会】①3府省合同事務連絡について②平成30年度園長・リーダー研修会について③全国研究研修担当者会議の開催について【経営研究委員会】①就業規則関連諸規程例について②幼稚園ナビについて③後継者育成研修会について【広報委員会】①広報委員会の開催について②PTAしんぶん小委員会について③PTAしんぶんの今後の形態について【102条園委員会】①個人立幼稚園における子ども・子育て支援新制度について【認定こども園委員会】①認定こども園委員会の開催について②第34回設置者・園長全国研修大会の分科会について③認定こども園全国研修会の開催について【こどもがまんなかPROJECT】①第3回こどもがまんなかPROJECTアワードの実施について②AEDの購入について【政令指定都市特別委員会】①第3回・政令指定都市特別委員会研修会の開催について②政令指定都市特別委員会の開催について

最後に田中辰実副会長の閉会のあいさつで常任理事会は終了しました。（総務委員長・坪井久也）

## 平成30年度上半期決算報告・監査報告など

全日私幼連の団体長会・理事会合同会議が12月14日、東京・私学会館において開催され、57名（定数62人）が出席しました。

田中雅道副会長の開会の言葉に続き、香川敬会長があいさつを述べました。

議長に坂本洋氏（岩手県）と渡真利彦文氏（沖縄県）が選出され、議事録署名人に角谷正雄氏（新潟県）と大矢野隆嗣氏（熊本県）を選出しました。

### ■行政報告

先崎卓歩文部科学省初等中等教育局幼児教育課長より、「幼児教育の無償化について」の報告がありました。

■協議案件：幼児教育の無償化後への対応について  
坪井久也総務委員長より資料をもとに説明が行われ、岩田知也全日私幼連専務理事より補足説明がありました。

■審議案件（1）：チャレンジ・ビジョンについて  
加藤篤彦教育研究委員長と、東重満（公財）全日私幼研究機構理事長より、幼児教育の更なる質向上を図るためのチャレンジ・ビジョンの提案があり、

提案通り議決されました。

■審議案件（2）：平成31年度全日私幼連会費（案）について

坪井久也総務委員長より説明があり、全会一致で議決されました。

■報告案件（1）：平成30年度上半期決算・監査報告について

坪井久也総務委員長より決算の報告があり、田中圭子監事より監査報告が行われました。

■報告案件（2）：幼稚園教諭等（民間）に関するキャリアアップ研修について

加藤篤彦教育研究委員長と、東重満（公財）全日私幼研究機構理事長より説明および報告が行われました。

■報告案件（3）：会務運営報告について

各委員会の委員長、プロジェクト座長から、会務の進捗状況について報告がありました。

最後に、田中辰実副会長の言葉で閉会しました。

（総務委員長・坪井久也）

保育力の向上のために

資質向上の取組の証明に

キャリアパスや免許更新のために  
研修の記録を大切に残しておきましょう！

**監修** 公益財団法人 全日本私立幼稚園幼児教育研究機構

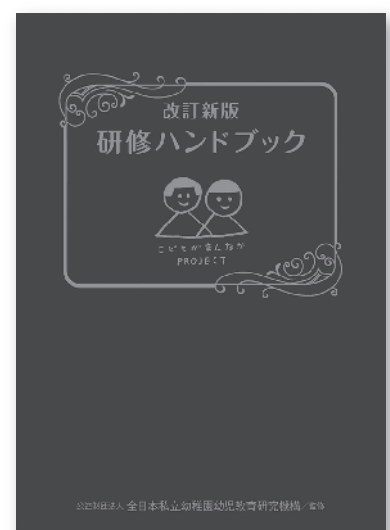
**改訂新版 研修ハンドブック**

4145301 **648円**（本体600円）

●B6判  
●112ページ

ご用命はお近くの書店、またはワンダー販売会社まで。

**株式会社 世界文化社** ワンダー CS 事業本部  
TEL03-3262-5128



## 平成 31 年度 幼稚園関係予算案の概要について

### 1. 幼児教育無償化の実施（幼稚園就園奨励費補助等） 701 億円

幼児教育の無償化は、予定通り 2019 年 10 月から全面実施されます。本連合会がこれまで強く要望し続けた幼児教育の無償化が、ついに実現されることとなりました。幼児教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであるであり、無償化により、全ての子どもたちに質の高い幼児教育が保障されます。また、幼稚園が行う預かり保育についても、保育の必要性がある場合は無償化の対象になることとなりました。

### 2. 私立高等学校等経常費助成費補助金（幼稚園分）281 億円

#### ◆一般補助＜171 億円＞

- 園児 1 人あたり単価：23,949 円（231 円増／1.1%増）
- 幼稚園教員の人材確保の取組に対する支援を引き続き実施

#### ◆特別補助＜110 億円＞

- 幼稚園等特別支援教育経費＜63 億円＞
- 預かり保育推進事業＜36 億円＞
- 幼稚園の子育て支援活動の推進＜11 億円＞

私学助成については、厳しい財政状況にも関わらず、園児一人当たり単価 1.1% 増を確保するとともに、特別な支援が必要な幼児の受入れや預かり保育に対する支援の充実が図られました。

## 新指導要録が“10の姿”の視点で書ける！

書ける！伝わる！

## 幼稚園 幼児指導要録 書き方 & 文例集

平成 30 年度実施 CD-ROM 付き

無藤 隆 監修／大方美香 編著  
定価（本体 2,200 円＋税）

26×21cm / 192 ページ 978-4-8054-0277-1 #310350



- 新要録の基本がマンガでわかる
- 記入のポイントをしっかり解説
- 記入例と文例をたっぷり掲載

様式フォーマット、  
記入例 & 文例入り！  
便利な CD-ROM 付き

認定こども園、  
保育所版も  
好評発売中!!



保育の現場に寄り添って 80 年

チャイルド本社

〒112-8512 東京都文京区小石川 5-24-21  
TEL. 03-3813-2141 FAX. 03-3814-3392

### 3. 幼児教育の環境整備の充実 58億円

平成30年度補正予算123億円、安心こども基金等 45億円

#### ◆認定こども園等への財政支援<45億円>

※30年度補正予算にて108億円、安心こども基金等にて43億円

認定こども園の設置・促進を図るため、認定こども園の施設整備・園舎の耐震化・防犯対策に要する経費の一部を補助するとともに、幼稚園教諭免許と保育士資格の併有促進や、研修等の実施費用、園務改善のためのICT化を支援する。

①認定こども園施設整備交付金 34億円

②教育支援体制整備事業費交付金 11億円

#### ◆私立幼稚園の施設整備の充実 <13億円>

※別途30年度補正予算にて15億円

緊急の課題となっている耐震化に取り組むとともに、学校法人立幼稚園等の施設のアスベスト対策・防犯対策、エコ改修等に要する経費の一部を補助することにより幼稚園の環境整備を図る。

幼児教育の環境整備の関連予算として、認定こども園への移行に伴う施設整備等のための認定こども園施設整備交付金については、平成30年度補正予算等とあわせて、約185億円計上されています。

緊急の課題となっている耐震化やエコ改修等のための私立幼稚園施設整備費については、平30年度補正予算等とあわせて、約30億円計上されています。

### 4. 幼児教育の質の向上 3.4億円

#### ●幼児教育実践の質向上総合プラン（新規） <3.1億円>

##### ・幼児教育推進体制の充実・活用強化事業 <1.5億円>

地方公共団体において、公私立幼稚園・保育所・認定こども園に対して一体的に域内全体の幼児教育の質の向上を図るため、担当部局の教育・保育内容面に係る事務の一元化や幼児教育センターの設置等、幼児教育の推進体制を構築している都道府県及び市町村を対象に、幼児教育アドバイザーの配置及びそれらを活用した研修支援、幼小接続の推進等に必要な費用の一部を補助する。

##### ・幼稚園教諭免許法認定講習等推進事業 <0.2億円>

幼稚園教諭免許状の上進のための免許法認定講習等の開設数が少ないことから、講習等の開設支援を通じて一種免許状の取得機会を拡大し、幼稚園教諭の専門性の向上を図る。

##### ・幼稚園の人材確保支援事業 <0.7億円>

幼稚園教諭の新規採用促進、離職防止・定着促進など、各地域における幼稚園の人材確保に向けた先導的な取組を支援し、有効な方法を検証・普及する。



・ 幼児教育の質向上のための評価実施支援事業 <0. 3 億円>

幼稚園等が教育活動や園運営について評価し更なる質の改善を図るとともに、評価結果を踏まえた自園の現状等を保護者などに伝えていくため、自治体等が各園の評価の実施を支援するモデル的な取組を開発し普及する。

・ 幼児教育の教育課題に対応した指導方法等充実調査研究 <0. 4 億円>

幼児教育の教育課題についての実態把握や効果的な指導の在り方について調査研究を実施する。(ex. 幼小の円滑な接続に向けた教育課程や指導の在り方、教員のキャリア形成を支える研修の在り方) また、Society5.0 時代の先端技術の活用などを通じて、園内環境や幼児行動、教員の働きかけ等を総合的・多角的に捕捉・可視化し、幼児の豊かな行動を引き出す環境の構築や教師による適切な指導を支援するための実証研究を実施する。

● 幼稚園教育課程の理解の推進・ ECEC Network 事業の参加 <0. 3 億円>

新幼稚園教育要領の理解の下、適切な教育課程が編成・実施されるよう、研究協議会の開催や指導資料の作成を行う。また、OECD において計画されている調査に参加し、幼児教育の質の向上を図るための政策立案に資するデータや各国の事例を収集する。

幼児教育の質の向上の関連予算としては、「幼教育実践の質向上総合プラン」を新規に立ち上げ、地方公共団体における幼児教育推進体制の充実・活用強化、幼稚園等における人材確保の取組や質向上のための評価の実施への支援、幼稚園教諭の専門性向上に向けた免許上進を推進する事業が実施されます。

なお、本連合会においては、平成 29、30 年度予算を活用し、人材確保支援アプリ「幼稚園ナビ」を開発運用中です。

5. 子ども・子育て支援新制度関係予算案（私立幼稚園に関する事項抜粋）

◆ 国家公務員給与の改定に伴う待遇改善（幼稚園教諭 0.8%）

※平成 30 年度に遡及して適用

◆ 幼稚園教諭等の 1 %の処遇改善（「新しい経済政策パッケージ」）

◆ 栄養士の配置促進（栄養管理加算の拡充）

◆ 一時預かり事業<幼稚園型>

・ 預かり保育の長時間化・通年化の促進（幼稚園型Ⅰにおける加算の創設）

担当職員を全て有資格者とした上で、長時間・通年での預かりを行い、一定数以上の児童を預かる施設に、職員配置に要する費用を上乗せする加算を創設（1 施設 150 万円程度を上限）※詳細要件検討中。

・ 保育を必要とする 2 歳児の受入れへの補助（幼稚園型Ⅱ）の継続

幼稚園で保育を必要とする 2 歳児（3 号認定）を定期的に預かる場合の補助制度である一時預かり事業（幼稚園型Ⅱ）を継続して実施。



平成 31 年度の公定価格においては、平成 30 年度人事院勧告を踏まえた待遇改善（0.8%）を反映されるとともに、「新しい経済政策パッケージ」に基づく幼稚園教諭等に対する 1%の処遇改善を着実に実施され、また、栄養士を実際に配置している場合に要する費用を支援する加算の充実が決まり、給付水準の維持・向上が図られます。

また、一時預かり事業（幼稚園型Ⅰ）においては、今回の幼児教育の無償化の対象とされた預かり保育について、幼稚園を希望する保育を必要とする者の受け皿の確保・質の向上を図るため、長時間・通年での預かりに対応した新たな加算の創設という充実が図られました。また、平成 30 年度に創設した一時預かり事業（幼稚園型Ⅱ）についても継続して実施されます。

平成 31 年度予算については、加盟園のご支援・ご協力をいただきながら香川会長を先頭に強力かつ懸命に折衝活動が続けた結果、厳しい財政状況にもかかわらず、大幅な増額となるこのような幼稚園関係予算を獲得することができました。

参考資料として、全日私幼連ホームページに

①平成 31 年度幼稚園関係予算

(<https://youchien.com/info/news/tfpkv10000001bjr-att/31youchienkankeiyosan.pdf>)

②平成 31 年度子ども・子育て支援新制度に関する予算

(<https://youchien.com/info/news/tfpkv10000001bjr-att/31shinseido2.pdf>)

を掲載しております。そちらも併せてご覧ください。

## (株)学研教育みらい

東京都品川区西五反田 2-11-8  
幼児教育事業部

お問い合わせは 0120-833-415  
フリーダイヤル

### 園ぴゅう太のメールサービス



#### らくらくメール

園から保護者へらくらくメール送信！  
組別・個別送信、既読確認もできます。  
サーバー二重化で、いざという時も安心です。



#### らくらくバスメール

スマートフォンでバスメールを送信！  
大きなボタン表示で画面操作もらくらく。  
タップするだけでメール送信できます。

心機一転！  
リニューアル

ぜ～んぶ学研に  
おまかせ!!

オリジナル！  
キャラクター  
ロゴ

Flashで  
動画！

らくらくホームページ

目的やご要望に合わせて作成し、学研が更新  
もお電話・FAXで対応します。  
「お知らせ更新は園で…」というご要望にも  
システム併用でご対応いたします。

# 公益財団法人全日本私立幼稚園幼児教育研究機構

★ 12・7 第 16 回理事会

## 幼児教育の質の向上への総合的な取組み他を決議

12月7日、(公財)全日私幼研究機構の第16回理事会が東京・私学会館で開催され、理事13人が出席しました。東重満理事長が議長となり、議事録署名人は、満場一致をもって志内正一理事、杉山一夫理事が選任されました。

### 【決議案件】

1、幼児教育の質の向上への総合的な取組みの承認の件

議長より、資料に基づいて幼児教育実践の更なる質向上を図るためのチャレンジ・ビジョンについて説明がありました。審議の結果、定款第30条第1項の規定に基づき一同に諮ったところ、満場一致をもって決議されました。

2、責任限定契約の承認の件

議長より、外部役員の責任限定契約書の取り交わしについて説明がなされ、定款第28条第1項及び第2項の規定に基づき一同に諮ったところ、原案通り満場一致をもって決議されました。

3、委員承諾書の承認の件

議長より、(公財)全日私幼研究機構としての委員承諾書の取り交わしについて説明があり、定款第30条第1項の規定に基づき一同に諮ったところ、原案通り満場一致をもって決議されました。

### 【報告案件】

1、監査の中間報告の件

東理事長より、10月に行われた中間監査の報告や財務状況の説明がありました。

2、内閣府・立入監査の件

東理事長より、11月に行われた内閣府立入監査



の指摘事項について報告がありました。

3、平成30年度下半期予算の件

東理事長より、報告案件1に伴い、平成30年度に補正予算を組む可能性がある旨の説明がありました。

### 【その他】

・幼稚園ナビを活用した研修履歴の活用について

東理事長より、財団における研修や免許状更新講習の諸手続きについて今後幼稚園ナビを通じて管理する旨の説明がありました。

・免許状更新講習受講者急増への対応について

東理事長より、免許状更新講習受講者の急増への対応や現職でない免許状更新講習受講者に対する臨時措置、各都道府県における免許状更新講習開設にかかる個別事象について報告がありました。

((公財)全日私幼研究機構専務理事・田中雅道)

# 日本私立学校振興・共済事業団からのお知らせ

## 表紙写真・園紹介記事を募集しています



### 表紙写真

春季は入園式、遠足、夏季はプール開き、お祭りなど、四季折々の季節感ある学園風景の写真を募集しています。

### 連載「魅力あふれる学校づくりを目指して」

幼稚園での施設整備に関すること、園児の体力づくりや情操を育む日々の取り組みなど、様々な事例を紹介してみませんか。

### 過去の掲載

#### 【表紙】

◆平成 30 年 8 月号(VOL.248)／聖公会北海道学園

#### 【表紙および記事】

◆平成 29 年 7 月号(VOL.235)／第一学園

理念の明確化・見える化により、関係者全員が納得し、協力し、育ち合える学園を目指して

〒102-8145 東京都千代田区富士見 1-10-12

企画室 ☎ 03 (3230) 7809～7811 ✉ kikaku@shigaku.go.jp

## 「しーちゃんと学君のちょっと学校訪問」

特色のある園づくりの様子や、園児が生き生きと学んでいる様子取材させてください。

園の伝統行事や音楽・スポーツ活動、地域活動への参加など、「レター」で紹介してみませんか。事業団職員が取材にお伺いします。

### 過去の掲載

◆平成 31 年 1 月号(VOL.125)

感動したぶんだけ、大きくなれる 森のものがたり(森のこども園)

◆平成 30 年 3 月号(VOL.120)

地域密着!客車劇場(富士見幼稚園)

◆平成 29 年 1 月号(VOL.113)

本物に触れ、五感をひらく干潟観察(なぎさ公園小学校)

◆平成 27 年 11 月号(VOL.106)

たくさんの愛に包まれたクリスマスページェント(武庫川幼稚園)



〒113-8441 東京都文京区湯島 1-7-5

広報相談センター 広報班 ☎ 03 (3813) 5321 (代表)



私幼時報では、平成30年8月号から平成31年3月号の8回にわたり、平成30年1月28日に開催された全日本私立幼稚園幼児教育研究機構・発達保育実践政策学センター(Cedep:セデップ)共催シンポジウム「東アジアの保育・幼児教育改革～現職研修と評価を通じた保育者の専門性向上～」の内容を報告します。今号と次号では、パネル討論の報告をいたします。なおこの報告は便宜上一人称で書きますが、全て引用という訳ではなく、一部平林祥先生(大阪・ひかり幼稚園)が加筆・修正をしておりますことをご了承ください。当日配付されたスライド資料は、発達保育実践政策学センターのシンポジウム報告ページ([http://www.cedep.p.u-tokyo.ac.jp/project\\_report/symposiumseminar/sympo\\_20180128/](http://www.cedep.p.u-tokyo.ac.jp/project_report/symposiumseminar/sympo_20180128/))からダウンロードできますので、ご参照ください。

## パネル討論①

**野澤祥子先生**(Cedep 准教授): 私からは、Cedepでの研究プロジェクトの成果を参照しながら、日本での保育者の専門性向上の取り組みについて要点を絞ってお話をしてから、質問をさせていただきます。

今、日本でも、また世界各国でも、保育者の専門性の向上が特に重視されています。保育実践の質において、保育者の専門性が鍵となる重要なものであると各国で考えられていて、保育者一人ひとりが学び続け、専門性を向上させていくこと、またそのことにより、学び続ける組織として園のコンピテンスを高めていくことの重要性が、本当にいろいろな所

で指摘されています。日本では今まさに幼児教育・保育の改革が進められていて、子ども・子育て支援新制度が動きだし、要領/指針も改訂/定されて平成30年度に施行されています。また、幼児教育の無償化も進んでいきます。ムン先生のお話(連載③と④)で印象に残ったのは、「未来について考えることが必要だ」ということです。目の前の課題もちろん大事だけれども、それを超えて未来についてみんなで語り合い、議論し、対話することが大事なとあらためて考えています。

Cedepではよくこの図(スライド3)を出すのですけれども、子どもを中心に置き、その周りにプ

幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に準じた指導計画

# 月刊 保育とキャリア

毎月2日発売



ひかりのくに株式会社

本社/〒543-0001 大阪市天王寺区上本町3-2-14 TEL.06-6768-1151代表  
支社/〒175-0082 東京都板橋区高島平6-1-1 TEL.03-3979-3111代表

ロセスや実施運営、構造、カリキュラム、(国や自治体の)志向性という多層的な文脈を持つシステムとして幼児教育・保育を捉えたとき、園でのリーダーシップと評価、研修というミクロなレベルから、自治体が今後取り組む幼児教育推進体制と幼児教育アドバイザーなどのマクロなレベルについて、私たちの研究成果を参照しながら日本の現状を整理いたします。その上で、今後の在り方について示唆を得るための質問をいたします。

### 【評価と研修】

新しい要領 / 指針では、「評価」という言葉が様々な文脈で出てきます。それを読んでいて、私は「とても分かりづらい」という印象を持ちましたので、少し整理してみました(スライド4)。

**評価の対象**となるのは、園全体の運営、あるいは個々の保育者の実践、さらに子どもの姿や発達の理解に基づく評価も含まれています。

その評価を誰がするか(**評価の主体**)ということに関しては、園の職員がみんなで園全体の運営について評価をする場合も「自己評価」と呼ばれ、個々の保育者が自分の保育実践について評価することも「自己評価」と呼ばれます。その他に、園に関わる人たちが集まって行う関係者評価、園とは異なる機関の人たちが行う第三者評価(あるいは外部評価)と呼ばれるものがあります。

**評価の目的**も様々なにあります。とても重要なこととして、専門性の向上や保育実践の改善。また、説明責任、それから、園や地域や家庭との連携を図っていくために評価結果を公表し共有することがあります。それから、設置者等による支援や条件整備。何か課題が見つければ、そこを支援していく目的で実施されることもあります。

**評価の方法**には園内研修やカンファレンス、話し合いなどがあります。**評価のツール**としては、実践記録を用いたり、あるいは ECERS(保育環境評価スケール①3歳以上)や ITERS(保育環境評価スケール②0・1・2歳)などある程度数量化していく様々な評価項目が用いられることもあります。**評価の資料**としては、保護者アンケートや保護者の声なども

取り入れることが含まれます。

こういったことが法令や要領 / 指針に書かれています。これらを全て「評価」と一緒に捉えようとすると混乱しますので、整理して捉えていくことが重要なと思います。この中で、日本では「自己評価」が一番基盤となるものとして、これまで重視されてきたと思います。

### 【自己評価の実態と課題】

スライド8は Cedep の調査で「園の自己評価が今どのように実施されているか」を伺ったものです。ご覧のように、幼稚園と認定こども園、認可保育所では、8~9割程度の園で自己評価が実施されています。ここでいう「自己評価」とは、園全体の運営の自己評価を指します。自己評価の実施は、園が継続的に学び、向上していくために重要だと思われますし、OFSTED(イギリスの教育水準局)でも自己評価の比重が高くなってきているという指摘もあります。ただ、自己評価だと評価視点が偏ったり、評価の基準が固定化してしまう懸念もあります。そこでいま一度、保育の視点を共有することも今後大事になってくるのではないかと私どもは考えています。

### 【Cedep による評価指標の開発】

そういう背景があって、Cedep では保育プロセスの質評価スケールと研修を開発しています(スライド9)。これは ECERS や SSTEWS(「保育プロセスの質」評価スケール)などを参考に項目を作成し、実践者に見ていただき、色々なご意見を頂いてそのフィードバックを元に修正しています。さらに、ある自治体との協働で、作成したスケールを園内研修で使っていただき、実際に使ってみてどうだったかを Cedep で調べています。また、スケールとしての妥当性や信頼性のチェックも今後やっていこうと考えています。

こうして日本の保育実践の知恵を集めて可視化、共有化していく。これまでは園単位で検証されてきたような実践知や経験知を、もう少し開いてみんなと共有していかないと、その実践知が継承されな

なくなってしまうという危機感を私たちは今非常に強く持っています。Cedep のスケールが、唯一絶対の基準で、みんなで使いましようと言うつもりはもちろん全くなく、たくさんあるスケールの一つとして利用してもらえればと思います。また、様々なニーズに応じて、適切なスケールの使い方も含めて、Cedep で提案できればと考えます。(注：シンポジウム時点では、プロジェクト開始当初から行っていた自己評価にも外部評価にも使用できる「保育プロセスの質評価スケール」の開発としてご紹介しましたが、その後、保育者や研究者の方々と協働で検討を進める中で、現在は「保育プロセスふり返しシート(仮称)」を使用した自己評価による園内研修支援ツールの開発へと、プロジェクトの重点を変更しています。)

### 【リーダーシップ】

国際的な議論でも、リーダーシップモデルが変容してきています(スライド13)。学校教育や保育の文脈では、従来は階層的なリーダーシップモデル、カリスマで権威のある園長が一言発すればみんなが従っていく、というモデルがあったかと思います。それに対して、組織の色々な所にリーダーがいて、一人ひとりがリーダーシップを発揮しながら組織を運営していくというモデルが提案されてきました。それと関連して、園長はもちろん非常に大事な役割ですが、ミドルリーダーをいかに育てていくか、ということも今、注目されています。スライド14は、Cedepで行ったリーダーシップ研究の結果です。

### 【幼児教育アドバイザー】

幼児教育アドバイザーは地域レベルでの取り組みで、巡回指導や研修の開催などは、保育の質と専門性の向上に大きな役割を果たしていくことが期待されています。ただ、公立幼稚園の園長だった方がアドバイザーになっている割合が比較的高く、訪問先としても公立が多いという実情があります。施設の種別や公私を超えて、いかに地域の幼児教育・保育の向上・連携に貢献できるか、これから考えていかなければならないと思っています。また、小学校の

教員が幼児教育アドバイザーになるケースもあり、その場合はアドバイザーが幼児教育を理解しているのかという問題もあります。

**加藤篤彦先生**(武蔵野東第一・第二幼稚園 園長、公益財団法人全日本私立幼稚園幼児教育研究機構(以下、機構)教育研究委員長)：私は、機構の立場と、幼稚園の園長としての取り組みについてお話しさせていただきます。

### 【公益財団法人全日本私立幼稚園幼児教育研究機構】

機構には、私立幼稚園のほぼ全てが加入していて、全国47都道府県に7,500以上の加盟園、そこで勤務する教員数は約10万人、在籍する園児数は約130万人という大きな組織です(スライド2)。日本の幼児教育施設は、幼稚園とこども園、保育所のいずれも私立が大半を占めていて、幼稚園では公立は全体の1割程度です。機構では、色々な委託研究のほか、様々な取り組みをしています(スライド3)。

### 【研修と研修ハンドブック、研修俯瞰図】

機構で直轄している研修のほか、各都道府県の私立幼稚園団体とのつながりの中で実施される研修や都道府県独自の研修などがあります。例えば東京ですと、公益社団法人で研修会が開催されていて、新規採用教員研修と中堅教諭研修、教員免許状更新研修、園長・主幹教諭研修、一般の教員研修、公開保育、調査研究など54講座、177時間分ぐらいの研修を企画・運営しております(スライド4)。これらの研修は、現任の園長や主任がみんなで協力して運営しています。

機構が発行している研修ハンドブックには研修ジャンルが俯瞰図で整理されていて、指定の様式に添って研修履歴を記録する仕組みになっています(スライド5)。この記録は、各保育者の正式な研修履歴として文部科学省に認めていただけるようになりました。

研修俯瞰図についてはここでは詳しく説明しませんが、研修ジャンル別に、どのような研修を受けることが望ましいかが整理されています(スライド



6)。

### 【キャリアパス】

文科省調査では、私立幼稚園の課題として、平均で30歳までに7割が離職しているということが挙げられています（スライド7）。その対応策として、研修を通して専門性を獲得していただくと同時に、離職する前に幼稚園教諭という仕事の意義や社会的価値を伝えていきます。また、長く勤めていただくための処遇改善についても、国と地方が協働してキャリアパスを構築している途上にあります。

東京都の場合、新規採用教員研修として約20時間分、ミドルリーダー研修は40時間、教員免許状更新講習は10年ごとに30時間を確保しています。全国にいる10万人の先生方が、全員これに参加するとなれば、職員を研修に出す園の運営上の課題もありますし、研修を運営する側もボリュームを増やしていく上での課題があります。

### 【幼児教育の推進体制とネットワーク化】

幼児教育の推進体制については、幼児教育センターと幼児教育アドバイザーという仕組みがあります。私立幼稚園にとっても幼児教育アドバイザーが果たす役割が一定あると思っていますが、ここでの課題は、この推進体制に私立幼稚園をどう組み込むかということです。そのためには、機構と都道府県や市区町村レベルの行政との協働を積み上げていくことが重要になります。現在、機構は文部科学省とはかなり連携が取れるようになってきた一方で、都道府県や市区町村によってはパイプがうまくつながっていないところもあります。機構とCedep、あるいはCedepと教員養成大学とのつながりも重要です。子どもたちのために、つながり合ってネットワーク化していくことがこれから大事になってきます。

### 【自己評価】

学校評価における第三者評価では、自園の課題を自分たちで見つけることが何よりも大事なことです。外部者に問題点をただ指摘されるだけでは、何

をどうすべきなのかが分からないわけで、園はその質を向上させることができません。自園の課題を「我が事化」して、自覚した課題に取り組み、その課題に取り組むプロセスに対して、公開保育を使って他の幼稚園やこども園、保育所、行政の方など周りに見ていただき、アドバイスをいただいて、改善を図っていくプロセスが大事だろうと思っています。そうした自己評価の支援を基盤とした質の向上システムを、機構では「ECEQ（イーセック：公開保育を活用した幼児教育の質向上システム）」と呼び、構築して運用しています。Cedepでは質の評価スケールに取り組んでいらっしゃるということですが、今後はECEQの定性的あるいは定量的な効果測定も必要になってきますので、これから連携していきたいと思っています

（大阪府・ひかり幼稚園／平林祥）



## 幼児期における数的感覚の芽生えについて

（公財）全日本私立幼稚園幼児教育研究機構  
研究研修協力委員・縦断研究チーム 平林祥（ひかり幼稚園）

砂場研究の中間報告第5回は、「幼児期における数的感覚の芽生え」について、映像記録の分析を通して考察したことを報告いたします。

### 幼稚園教育要領における「数的感覚」

改訂された幼稚園教育要領や幼保連携型認定こども園教育・保育要領のなかで、「数的感覚」に関連する文言は、領域「環境」のねらいや内容、内容の取り扱い、あるいは幼児期の終わりまでに育ってほしい姿のうち(6)思考力の芽生え、(8)数量・図形、文字等への関心・感覚、(9)言葉による伝え合い、などに含まれています。

### 「数的感覚」を巡る議論

ただ、実際に数的感覚を育てる議論をすると、安易にプリント学習など小学校と同じような指導・学習形態を導入する立場と、そのような立場に異を唱えて数的な感覚を育てることを否定する立場との二

極化しがちな印象があります。

数学的な技能の基礎の獲得は、世界各国の幼児教育カリキュラムのなかで重要な資質・能力の一つとして位置づけられるものです。幼児期にふさわしい数的感覚にまつわる学びについて、もう少し丁寧に議論されていいのではないかと感じます。

### 評価スケールにみられる「数的感覚」

そこで、幼児期にふさわしい数的感覚の育て方を検討する補助線として、関連する評価スケールの文言を参照してみます。

例えば、イギリスのEPPE研究（効果的な就学前教育の実施研究）のために開発された“ECERS-E”（邦訳『新・保育環境評価スケール③考える力』、2018年、法律文化社）では、サブスケール【数量形】において「数える」「簡単な数字」「形」「分類・対応・比較」と4項目を割いています。そこでは、例えば「大人は、子どもと何かをするときに順番を

# CHAPPY 園児管理シリーズ クラウド対応

## 園児管理システム

パソコンでも  
タブレットでも  
使えます！





園長



先生

出席の管理  
未就園児管理  
バスコース管理  
承認機能完備

パソコン内ではなく  
データセンターでの  
管理になるので  
セキュリティに  
優れています。

個人カリキュラム  
検査記録  
課外活動一覧  
指導計画

園で役立つ機能が満載！ しかも簡単入力で時間削減。  
チャイルド社の園児管理システムは、  
忙しい先生を応援するためのシステムです。

開発・販売 株式会社 **チャイルド社** コンピュータ部

〒167-0052 東京都杉並区南荻窪4-39-11 TEL 03-3333-2345  
ホームページアドレス <http://www.child.co.jp/>

表す数を使う」「子どもは、いろいろな場面で数を数えるように励まされる」(項目7 数える)、「子どもが数を使うことを支えるような遊具/教材がある」「書かれた数字には、実際の目的がある」(項目8 簡単な数字)、「活動を通して基本的な『形』の概念を発展させたり広げたりしている」「保育者は、子どもがいろいろな形がもつ性質に気づくようにし、新しいことに応用したりするように支える」(項目9a 形)、「分類・対応・比較の基準となる特徴が、大人によってはっきりと示される」「いろいろな活動場面で分類・対応・比較の基準が言葉で表現される」(項目9b 分類・対応・比較)、等の評価指標が示されています。

また、シンガポールの幼児教育認証評価枠組(SPARK/ スパーク)のスケールは、その一部がECERS(保育環境評価スケール)を参考に作成されていますが、サブスケール【数的感覚】において[数的な概念と技能の発達]と[数学的用語の利用]という2つの項目を設けています。そこでは、例えば「教師は、実際的な課題で子どもが数的な概念や技能を用いることを促す」「例として、(中略)子どもはどのような種類のお菓子を詰めて売るかを子ども同士で話し合う過程で、並べ替える、比較する、数える、数値、形状などの数的な概念や技能を利用する機会を得られる」(5.6 A 数的感覚)、「教師は、概念を説明したり技能を提示する際に数学的用語を用いる」「数学的用語の例:大きい/小さい、長い/短い、重い/軽い、より多い/より少ない、同じ/一つ多い/一つ少ない、数え上げる/逆に数える、一番目/二番目/三番目、合計で、釣り合う、並べ替える、パターンをつくる」(5.6 B 数学的用語の利用)、等と評価指標および注釈に示されています。

### 砂場で見られる「数的感覚」の育ち

こうした評価スケールの文言から、幼児期にふさわしい数的感覚の育て方が少し見えてくるのではないかと思います。これを参照して、砂場研究で提供された映像記録を分析してみると、様々な形での数的感覚の育ちを見取ることができました。



中国四国 焼山こぼと幼稚園 11月 3歳児

▲1, 2, 3, 4, 5。いま5こあるよ(写真1)

たとえば、お団子屋さんごっこをしながら作って並べた団子を「1, 2, 3, 4, 5。いま5こあるよ」と数える姿が見られました(写真1)。



東京 やはたまずのとう幼稚園 7月 3歳児

▲いちごアイス! (写真2)

プラスチック製の型に砂を詰めて、砂場の枠で型抜きをして「いちごアイス!」と話している男児は、砂場の木の枠1つにつき、いちごアイス1つを載せる「1対1対応」をしています(写真2)。



北海道 旭川ふたば幼稚園 7月 5歳児

▲1対1対1対応&平面充填(写真3)



5歳児では、泥団子と木の実、葉っぱを1対1対1で対応させて泥団子を丁寧に完成させることに加えて、それを美しく対称形に容器に収めていく姿、そして「そろそろ容器がいっぱいになる」と気付くと、次の容器を用意し始めるなど、遊びのなかで数的感覚の育ちが多層的に見られました（写真3）。



東海北陸 静岡豊田幼稚園 10月 3歳児

▲保育者の声掛け、関わり（写真4）

数的感覚の育ちは、他の育ちと同様に、保育者が関わるからこそ育つ部分もあるはずです。3歳児と泥団子を作りながら、「もう2回目?」「先生もお水ちょうだい。柔らかくて、固まらないの」「あ、いい。固くなってきた」「あ、大きいね」「すごい。何個かな?」と言葉をかけ（写真4）、子どもたちが経験する数的感覚を数学的用語と結び付けていったり、そのような性質に気付くような環境を構成したり、数的な概念や技能を利用する機会を作るなど、幼児期の数的感覚の育ちにおける保育者の役割は多様かつ重要です。その役割を果たすためには、そもそも保育者がそのような数的な概念や用語を知っている必要があります。「保育者の認知的技能が高まるほど、子どもの育ちを深く読み取ることができる」と井桁容子先生（元東京家政大学ナースリールーム主任保育士）が以前に語られていましたが、逆に言うとも保育者の数的な感覚や概念、技能が乏しければ、子どもの育ちを見逃し、育つ援助を十分にできないのかもしれません。

## 今後の課題など

以上のように、砂場で見られる「幼児期における

数的感覚の芽生え」について考察を進めてきました。ただ、砂場研究で設定した視点「人とのかかわり」「物とのかかわり」に数的感覚の育ちに関わる項目が少なかったため、定量的なデータを十分に採取できていません。今後、必要に応じてそのような観点からもデータを採取することになるかもしれません。

この数年で、社会情緒的な技能（いわゆる非認知的な技能）の重要性が強調されています。認知的な技能も社会情緒的な技能も単独で発揮されたり育つわけではなく、組み合わせや掛け合わせで発揮され、育っていきます。社会情緒的な技能の育ちをきちんと保障するためには、おそらく認知的な技能の育ちもきちんと保障しなくてはなりません。ただ、保育評価スケールを使った調査からは、前回と今回で検討した数的感覚や科学性の育ちを促すための十分に豊かな保育環境がととのっていない保育現場が少なからずあることが示唆されています。両方の育ちを保障することの大切さを、砂場研究を通して見いだせるといいなと思いつつ、引き続き取り組んでいきます。

# 幼稚園教諭免許状をお持ちの方へ

更新義務がある人  
とは？



更新手続きは  
どのように行うの？

平成21年4月1日より、教員免許更新制が導入されました。  
免許状を所持する皆さまにおかれましては、免許状が有効である期間を  
御確認いただき、教職に就くにあたっては、免許状を有効な状態で所持  
していただきますようお願いいたします。

## ●教員免許更新制に関するお問い合わせ先●

文部科学省総合教育政策局教育人材政策課教員免許企画室更新係

メールアドレス：menkyo@mext.go.jp

電話：03-5253-4111（内線：3573）

文部科学省ホームページ「教員免許更新制」

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/koushin/index.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/koushin/index.htm)



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,  
CULTURE, SPORTS,  
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

# 教員免許更新制について

## ◎免許状更新講習の対象者とは？

### ◆受講義務者◆

| 現在の勤務先       | 現在の状況（現職等）          |
|--------------|---------------------|
| ①幼稚園         | 幼稚園教諭（非常勤講師・パート等含む） |
| ②幼保連携型認定こども園 | 保育教諭（非常勤講師・パート等含む）  |
| ③幼稚園型認定こども園  | 幼稚園教諭（非常勤講師・パート等含む） |

- ◆所定の期間内に更新の手続きを行わない場合、免許状は失効します。  
※現職教員の場合、免許状が失効することで失職に繋がる場合もあります。

### ◆受講対象者◆

| 現在の勤務先         | 現在の状況（現職等）                                                                                   |
|----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|
| ④幼稚園型認定こども園    | 保育士（パート等含む）                                                                                  |
| ⑤保育所型認定こども園    | 保育士（パート等含む）                                                                                  |
| ⑥地方裁量型認定こども園   | 保育士（パート等含む）                                                                                  |
| ⑦認可保育所         | 保育士（パート等含む）                                                                                  |
| ⑧幼稚園併設型認可外保育施設 | 保育士（パート等含む）                                                                                  |
| ⑨教職以外の職、無職     | <ul style="list-style-type: none"><li>・教員採用内定者</li><li>・非常勤講師リスト登録者</li><li>・教員経験者</li></ul> |

- ◆受講義務はありませんが、免許状を更新する希望がある場合、講習を受講することができます。



認可外保育施設、小規模保育施設、事業所内保育施設に勤務する保育士は、⑧に該当しない限り、受講対象者に該当しません。

免許状更新講習を受講するには、上記の受講義務者若しくは受講対象者のいずれかに該当することが必要です。



## ◎更新手続きはどのように行うの？

### ●○手続きのスケジュールイメージ●○

例：平成31年3月31日が有効期間の満了の日（修了確認期限）の場合

平成29年2月1日～…手続き開始可能日（2年2か月前）

（平成29年2月1日～平成31年1月31日）  
免許状更新講習受講期間及び申請期間（2年間）

#### ①免許状更新講習の受講



##### 1. 受講する講習を決めます。

講習開設情報については、文部科学省ホームページを御参照ください。  
※下記ウェブサイトより確認できます。（文部科学省「講習開設情報」）  
[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/koushin/004/index.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/koushin/004/index.htm)

##### 2. 講習開設者（大学等）へ申込をします。

※申し込み方法は講習開設者へ御確認ください。



##### 3. 講習を受講します。

|                                                                                                                          |   |           |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|-----------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必修領域 …… 6 時間以上</li> <li>・ 選択必修領域 …… 6 時間以上</li> <li>・ 選択領域 …… 18時間以上</li> </ul> | } | 計 30 時間以上 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|-----------|

##### 4. 受講修了後、講習開設者より「更新講習修了（履修）証明書」が届きます。

#### ②免許管理者へ申請



##### 5. 更新講習修了証明書を全てまとめ、必要書類とあわせて免許管理者へ提出します。

【免許管理者とは？】

現職教員の場合 ▶ 勤務先の所在する都道府県教育委員会  
教員以外の場合 ▶ 住所地の都道府県教育委員会

平成31年1月31日…申請締切日

#### ③手続き完了



##### 6. 免許管理者より、有効期間更新証明書又は更新講習修了確認証明書が届きます。（証明書には、次回の有効期間の満了の日（修了確認期限）が記載されています。）

平成31年3月31日…有効期間の満了の日（修了確認期限）

平成41年3月31日…次回の有効期間の満了の日（修了確認期限）

## 同僚性の中で育まれるリーダーシップ

～ミドルリーダーが機能する組織のあり方～

○発表者：藤原晴子・米田亜里沙

(認定こども園せんりひじり幼稚園・にじいろ保育園)

○共同研究者 岡 健(大妻女子大学)

### ○人材育成をめぐる課題

全国的に保育士不足が深刻になっていますが、その原因は待機児解消のための保育所の増加だけではなく、早期離職の増加もあります。

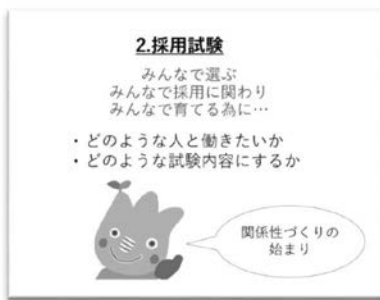
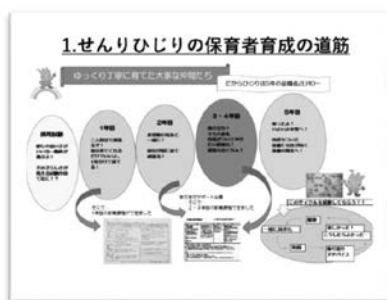
これはせんりひじり幼稚園の職員の勤続年数の分布図です。

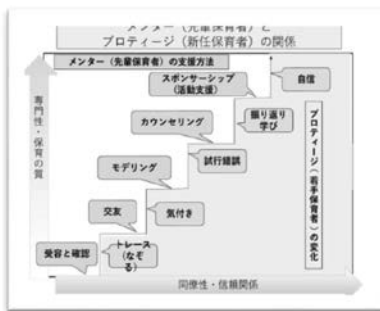
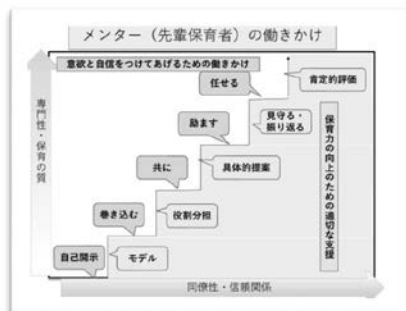
過去10年間、5年未満の退職者が0でした。

園の中にいたら「当たり前」と思っていたことが、特別なことだということがわかりました。人材育成を課題と感じている園が非常に多い中、保育者がやりがいを感じ、仕事を続けて行くために組織の中核的な役割を果たすミドルリーダーの役割や育成について自園の歩みや研究をもとに整理し明らかにしていきたいと思います。



### ○中核的な役割のミドルリーダーとして





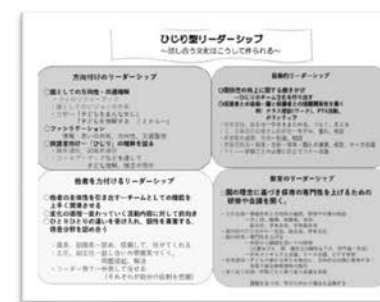
子どもたちの主体性の育ちを支えているのは保育者の主体性

園長・副園長・主任と保育者の関係と  
保育者と子どもの関係は似ている

※子どもも保育者も、らしくあること

### 4.分散型リーダーシップ (せんりひじり版)

個々の主体性が発揮されるチームづくり  
※意欲を引き出すリーダーシップが重要



### 5.園内研修

～話し合う文化～

### 園内研修での ミドルリーダーの役割

- 情報共有
- ファシリテーター
- 課題の見極め

話し合う文化ができて

楽しい  
(タノクルシイ)

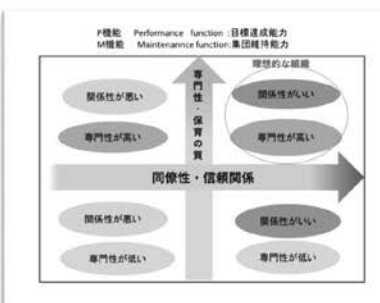
園内研修で育つ

- 同僚性
- 仲間意識
- 自信

### 6.ミドルリーダーの悩み

振り返ってみて

- ・新任が困った時にすぐに気付いてあげたい
- ・個性をうまく引き出してあげているかな
- ・もっと話をうまく振ってあげて、自分の考えを言いやすくしてあげたい
- ・任せる前に確認も必要だと感じた
- ・プライベートの相談も大切に先を見通す力が育つといいな



安心と同時に学びが保証される環境

やりがい・面白さ

学び・力をつける  
質の向上

同僚性・信頼関係・自己開示

### ミドルリーダーの育ちを支える

- ・信頼しらせて見守る
- ・肯定的な眼差しで見守る
- ・関係性の中で人が育つ。保育者の主体性を大切に



どの子も自分らしさを発揮して、主体的に育ってほしい。その子どもたちの育ちを支える保育者は保育を語り合うことを楽しんでほしい。そして、何より子どもが一番身近な大人として自分らしく主体的であってほしい。そんな保育者をミドルリーダーが支え、その成長を喜び、そんなミドルリーダーの姿をリーダーが肯定的に支えている。今後もミドルリーダーとして自分にできる事は何かを考え、大好きな仲間たちとやりがいを感じながら保育をしていきたいと思っています。



## 4年目の私

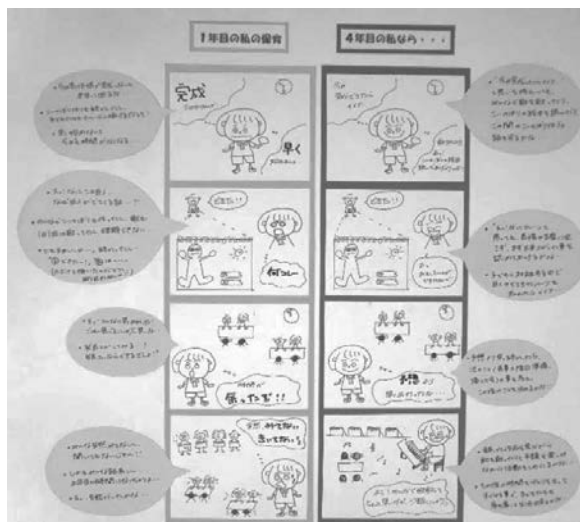
～これまでの保育日誌から見えてきたこととは・・・～

石渡佳奈（鴨居幼稚園） 白石里奈（鴨居幼稚園）

### はじめに

鴨居幼稚園に勤め始めて4年目。これまでの私は何をしても全然保育が進んでいかない。いつもバタバタしているクラス。どんどん話がそれていく話し合い。そんな毎日にどうしたらよいのか分からなく、何もできない自分。そんな自分が情けなく、涙した日もありました。しかし最近他の先生方に保育の展開が良くなったと時々声をかけられることも…。こんなダメダメだった私“なぜ…？”と思い、保育日誌を振り返ってみることにしました。すると“こんなところが気づけるようになってきているのかな…？”など違いや変化が見えてきました。その見えてきた変化を4つの実体験をもとに、見つめ直してみました。

### ① 子どもの声をよく聞くことで “こんなこと考えていたんだ！”と 共感できるようになってきている私・・・



#### 【見えてきた事】

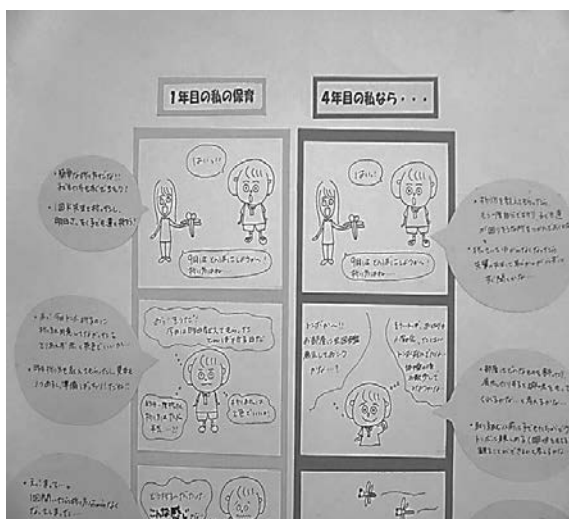
○子ども達のイメージがより膨らむようになっていられるようになってきている…

○子ども達の声を知る。先入観を持たず、対話する大切さを感じ始めた事で、子ども達の気持ちや想いを分かり始めてきている…

○『なんとか進めなきゃ』『良い保育をしないと』と強引に進めていたのが、『どう思うてる？』『考えている？』と少しずつ子ども中心の考えに変化してきている…

○余った時間をどう有効に使うかなと考え、保育を組み立てなおす事ができるようになっている…

### ② 準備や環境を整えることで “色んな保育が展開できるんだ”と 気づき始めている私・・・



#### 【見えてきたこと】

○子ども達が自然と興味を持てる環境の大切さを感じている…

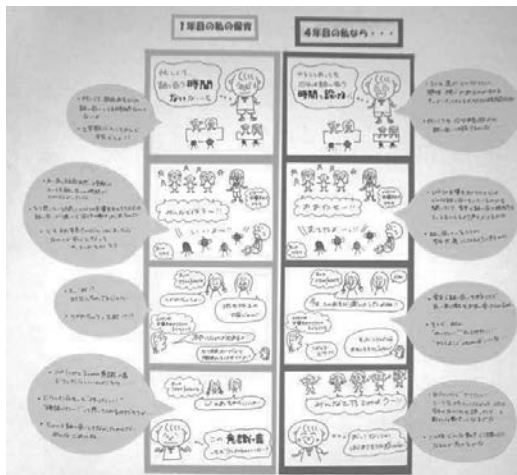
○落ち着いて保育に臨むには、事前準備やイメージがとても重要だと気づき始めている…

○環境が豊かだと色んな保育が展開できるといふことに気づき始めている…

○色んな事を楽しんだ結果、制作時などよりイメージが豊かに、またスムーズに進んでいくという事を実感し始めている…



### ③ 『子ども主体』ってこういうこと？ と気づき始めている私・・・



#### 【見えてきた事】

○“時間がないから出来なかった…”ではなく、“話し合う時間を設けるぞ”と話し合いに対する意識が変わり始めている…

○“これをやりましょう”ではなく、子どもたちが“やりたい”と思い、行動することの大切さを実感し始めているのかな…

○学校では“子ども主体”の大切さを学んできたが、やっと子ども主体がどういうことなのか、またその重要さが分かり始めてきているのかな…

### ④ 子ども達同士での話し合いの大切さに 気づき始めている私・・・



#### 【見えてきた事】

○“こうしましょうね”と話すより子ども達同士の伝え合いの中で気づく方がより分かってくれるということを実感し始めている…

○指示を出しやらせるのではなく、子ども達が理解し動ける大切さに気づき始めている…

○話し合いをしたらやりっぱなしではなく、その後も見届けける中で感じた事を子ども達に伝える事が大切と思い始めている…

○子ども達同士で話せるように整理することが先生の役目だと気づき行動できるようになってきている…

#### まとめ

保育日誌を読み直してみると、記述内容に変化があることがわかりました。

- 1 一人ひとりに心を寄せる事の大切さに気づき、私の心に変化が見られ始めている
- 2 考えたり、先輩に相談したりとより積極的な姿勢に変わってきている
- 3 子ども達がやってみたい！と思えるような保育を考える事が少しずつ出来るようになってきている

これらの気づきを活かし、保育に取り組んできた一学期です。

海や隣の小学校など散歩に行ったり、遊びの報告会（話し合い）をしたりしました。今まで馴染めず、部屋の隅っこにいた子が少しずつ皆の輪に入り、自分の話をするようになり、制作では苦手意識のある子も自分から“やってみよう”と取り組む姿が見られ、去年までと子ども達の反応が違うな…と感じ、私自身もワクワクした気持ちの日々でした。

まだまだ反省する事の多い日々ですが、子ども達の成長を通して、今まで支えて下さった保護者の方や先生方に感謝を伝えていきたいと思います



## 平成 31 年度のお申込みがはじまります

「私幼時報」を毎月手に取っていただいております先生方には、(公財)全日本私立幼稚園幼児教育研究機構の諸事業に対し、平素より格別のご理解を賜り感謝申し上げます。

本財団に設置されている調査広報委員会発行のPTAしんぶんは「子どものしあわせを願う親と先生のひろば」として大切な機関紙と位置づけ企画・編集作業を行っています。

ロゴの刷新や、文字を読み易く大きくするなど、紙面のリニューアルを行い、より皆様に身近な機関紙となるべく日々邁進しております。

また、「人生のスタートに良質な教育を」という新しいテーマで全保護者の皆様へお届けしましたが、これに対する反響は大きく、保護者の皆様からうれしいご感想の声を沢山お寄せいただきました。

「PTAしんぶん」は、(公財)全日私幼研究機構の賛助会員になっていただき、会員に対する機関紙という形で配布しております。幼稚園単位でのお申し込みとなり、年間会費 250 円で 11 回新聞が配布されます。

現在 PTA しんぶんを採用いただいております園数は、全加盟園の 23.5% です。この PTA しんぶんを来年度も継続して発行するのに伴い、継続の園はもちろん、新規のお申し込みも大歓迎です。ぜひ賛助会員としてのご入会をお願いいたします。

なお、PTA しんぶんを希望される幼稚園は、各都道府県私立幼稚園団体経由でのお申し込みになります。詳しくは、各幼稚園にお送りする案内をご覧ください。

(公財)全日本私立幼稚園幼児教育研究機構 調査広報委員会



## 地域で愛される園になるためのサポートブック

園のリーダーのために

# 保育ナビ

管理職向け月刊誌

定価: 本体価格 926 円 + 税  
B5 判 72 ページ

### 2019 年 2 月号の主な内容

- 特集 1 保育者にも援助技術が求められています！ これからの保護者支援・子育て支援には、「子どもの保育」というケアワークに加え、「家庭支援」というソーシャルワークが求められていきます。今回の特集では、相談援助の方法と技術など、ソーシャルワークの専門性と支援に必要なスキルを紹介します。
- 特集 2 保育の新たな真を探る ベストセラー作家の重松清さんが描く世界には、子どもや親や先生などが多く登場し、世代を超えて多くの人に愛されています。作中、重松さんが紡ぐ言葉を取り上げ、言葉に込められた思いをうかがいます。
- 「遊びの育ち」を見つめる -遊びこそアクティブラーニング- 気持ちの折り合いをつける、諦めないで粘り強く取り組むなどの非認知的な能力は、「学びに向かう力」として重要です。この能力は、保育者と子どもの信頼関係が基盤となって育ちます。



ISBN978-4-577-81443-7 722

本社: 〒113-8611 東京都文京区本駒込 6-14-9 <https://www.froebel-kan.co.jp>  
ご注文・定期購読のお申し込みは 03-5395-6608 保育事業部営業本部まで

キンダーブックの **フレーベル館**

## 新制度下における課題

人口減少問題は日本全国で取り組むべき問題になっていますが、本県ではとりわけ人口減少率と高齢者比率ともに全国ワーストで深刻な状況にあります。人口減少の理由としては、①若者の県外流出の増加②転入者が少ない③出生数の減少④高齢者の死亡等が上げられます。県や市町村では第2子の保育料を二分の一にしたり第3子が生まれると第2子を無料にしたりして（要件はあります。）保育料の助成を行い、出生数の増加を期待しています。しかし、年々出生数は減少している状況にあります。

幼児教育・保育の無償化により幼稚園や保育所に預けている家庭においては、子育てや教育費が軽減されて歓迎されますが、多くの子どもを生む家庭が増えることは本県の状況では難しいように思います。新しい動きとして、在宅で子育て中の親が働きに出ることを促す契機となりはしないかと心配する面が大きくあります。待機児童問題は解決されず保育士不足は更に深刻さを増すことも懸念されています。

本県では子ども・子育て支援新制度に移行した園は9割を超えています。過疎化が進み園児数が年々減少していることが大きな理由です。当面の課題としては、認定こども園となって新制度に移行した園では多くの保育士・保育教諭が必要となり預かり保育を含め園児数に合った職員数を確保することが難しい現状にあります。また、新しい保育教諭等が多くなったことで、園児一人一人の育ちを共有し合う日常的な情報交換の在り方やこれまでの研修内容・方法等を改善し指導の工夫について語り合いができる研修体制づくりを進めています。

（秋田県私立幼稚園・認定こども園連合会副会長、秋田市・認定こども園土崎幼稚園／伊藤敬二）

## 岡山県における人材確保の現状

岡山県においても幼稚園、認定こども園の新採用の人材確保はかなり厳しいものがあります。その中で倉敷地区では2011年から倉敷市内にある私立幼稚園を知ってもらうために合同説明会を始めました。時期は一学期中の日曜日で、幼稚園での仕事の楽しさや、やりがい等を紹介し、その後学生にエントリーシートを提出してもらったり、各園のブースに分かれ採用試験の有無、給料、待遇など園長や主任が面談しています。毎年150名程度の参加者がいるものの、中々採用に繋がらないのが現状です。

岡山市でも本年度より「就職ミーティング2018」と称して5月に行いました。岡山市からの支援を頂き私学と公立の合同で開催致しました。まずは各養成校へポスター掲示、チラシ設置を依頼し、就職フェスの開催を知らせました。参加者の中には一年生もあり、100名弱の学生が集まり、真剣に就職を考える姿が見られました。また、学生だけでなく大学の先生も多数参加され、私立幼稚園とのつながりができたように思います。地元の新聞にも掲載され私立幼稚園のよいアピールにもなりました。

津山地区においても、職員採用は厳しく、人材不足のところをパート職員で補っているのが現状です。働く条件のよい県外での就職を希望したり、保育所や公立志向が強い中、岡山地域の学生が地元で働くことが出来るよう、養成校と幼稚園・こども園がそれぞれ望む就職の条件は何か意見を出し合える場づくりをしていきたいと思っています。

また、学生の見学やボランティア活動等を取り入れながら、子供と関わる楽しさや、やりがいなど実際の保育現場を知ってもらう事も大切だと実感しています。

（岡山県私立幼稚園連盟教育研究部長、岡山市・朝日塾幼稚園／岡崎多美子）



## 編集後記

新しい年が明け、平成の時代がいよいよ終わりの時を迎えようとしています。やがて始まる新しい時代はいったいどのような時代になるのでしょうか。新元号は何になるのでしょうか。そんなことを考えているとなんだかとてもワクワクしてきます。

天皇陛下がご存命のうちに退位されるという歴史的な出来事にリアルタイムで立ち会えるということは、私たちが想像している以上のじつに稀な、

貴重な経験となることでしょう。在位30年でひと区切りとされ、それを見事に実行に移される陛下の強い御意志に改めて心打たれます。

そしてこの国の幼児教育に携わる者の一人としては、来るべき新しい時代がすべての子どもたちとご家庭にとって希望に満ち溢れ、いつの日も心豊かで健やかなものであってほしいと切に願う次第です。

(調査広報専門委員・前田幹)

## 平成30年度(第12回) 免許状更新講習の認定一覧

●選択領域「受講者が任意に選択して受講する領域」に関する免許状更新講習

| 講習の開催地     | 講習の概要                                                                                                                                                                                                                         | 担当講師                                                           | 時間数 | 講習の期間      | 受講数  | 認定番号              |
|------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|-----|------------|------|-------------------|
| 宮城県<br>仙台市 | 【「非認知能力」の育ちとは-感情発達研究の知見から-】<br>現場の視点と感情発達研究の視点から非認知能力の育ちを支える教育について考える。<br>【運動あそび・表現あそび～指導法を身につける理論と実例～】<br>運動あそび指導のための基礎理論や表現あそび指導のための基礎理論を学ぶ。明日からすぐに使えるあそびを実践的に学び、情報交換をしながら実践例を増やし、あそびの指導技術の向上に繋げる。                          | 山本 信(聖和学園短期大学 講師)<br>仁藤 喜久子(仙台白百合女子大学 講師)                      | 6時間 | 平成31年3月23日 | 125人 | 平30-80011-508959号 |
| 宮城県<br>仙台市 | 【教材研究の視点-科学的な遊びを中心として-】<br>身の回りの科学現象を子どもはどのように「見て」いるのか、その子ども達の見方の特徴を学ぶ。幼稚園教育要領の内容に沿って科学に関する教材を実際に作成しながら、子どもの気づきやその後の展開について考える。<br>【「持続可能な発展のための教育(ESD)」と幼児教育】<br>「持続可能な発展のための教育(ESD)」の理念や、幼児教育におけるESDの実践例から、幼稚園教育要領の内容理解を深める。 | 板橋 夏樹(宮城学院女子大学 准教授)<br>小野瀬 剛志(仙台青葉学院短期大学 教授)                   | 6時間 | 平成31年3月23日 | 125人 | 平30-80011-508960号 |
| 北海道<br>名寄市 | 幼児教育及び保育について理解と実践をふり返し、応用力をつけ現場における現代的な課題に関する知識と理解を得ることを目指す。また、幼稚園教諭免許状の更新者に焦点を当てた内容としている。                                                                                                                                    | 糸田 尚史(名寄市立大学 保健福祉学部社会保育学科教授)<br>傳馬 淳一郎(名寄市立大学 保健福祉学部社会保育学科准教授) | 6時間 | 平成31年3月2日  | 50人  | 平30-80011-508961号 |
| 北海道<br>名寄市 | 「保育現場での質を高める」、「幼稚園の役割を広め深める」の2つの事項について理解と実践をふり返し、応用力をつけ保育現場における現代的な課題に関する知識と理解を得ることを目指す。また、幼稚園教諭免許状の更新者に焦点を当てた内容としている。                                                                                                        | 今野 道裕(名寄市立大学 保健福祉学部社会保育学科教授)                                   | 6時間 | 平成31年3月3日  | 50人  | 平30-80011-508962号 |



新しいものを見るたび、触れるたび、

目覚ましく成長する子どもたち。

子どもたちにとって、毎日が成長の舞台です。

育む環境で、子どもたちの明日は変わる。

だから、私たちは大切なことを「環境」から考えます。

好奇心や想像力、勇気や感動。

そして、子ども同士の関わり合い。

子どもたちが大切な時期に、確かな一歩を踏み出せるように、

最良な環境の未来をつくりあげていきます。

こども環境の未来をつくる



**ジャクエツ**